

柏市民活動ニュースレター

2025年12月発行 第39号

夏から一気に冬へ・・・秋が来なくても、柏の秋を彩る 市民活動団体のイベントは、盛大に開催されました。

- ◆ 市民公益活動団体が出店する秋の風物詩「柏市民活動フリーマーケット ぽかぽか市」が、18団体の参加により、今年も11月23日（日／勤労感謝の日）に開催され、大勢の来場者で賑わいました。
- ◆ また、市民公益活動団体「JOBAN アートラインプロジェクト柏実行委員会」が主催する柏の秋を彩るアートイベント「アートラインかしわ2025」が、10月10日（金）から11月9日（日）までの一ヶ月間、他団体とも連携して、屋外・屋内の各会場で開催されました。



<目次>

卷頭	... 1
柏市民活動フリーマーケットぽかぽか市	... 2
アートラインかしわ2025	... 3
市民活動講座「ここから始める市民活動団体の生成AI活用術」	... 4
協働まちづくりサロン「柏における生涯学習と市民活動を考える」	... 5
たまご補助金団体の活動紹介	... 6
愛らぶ基金団体の活動紹介	... 7
サポートコーナーからのお知らせ	... 8

柏市民活動フリーマーケットぽかぽか市 (11/23)

- ◆ 11月23日（勤労感謝の日）は、毎年、市民公益活動団体が出店する市民活動フリーマーケット「ぽかぽか市」の日。今年も18団体が参加して開催されました。
- ◆ 柏駅周辺では、柏アーバンデザインセンター(UDC2)主催のクリスマスイベントKASHIWA Colorful Heart Christmas2025も開催され、相乗効果で大いに盛り上りました。



フリーマーケットに
18団体が出店し、大
勢の来場者で賑わい
ました。



同時開催のクリスマスイベントで、サンタクロースパレード
やダンスパフォーマンスが行われました。



『アートラインかしわ 2025』(10/10~11/9)

- ◆ 柏の秋を彩るアートイベント「アートラインかしわ」、20周年を迎えた今年のテーマは「柏花繚乱（ひやっかりょうらん）」
- ◆ 市民公益活動団体「JOBAN アートラインプロジェクト柏実行委員会」による自主事業に加えて他団体による多様な連携事業も行われ、柏の街は多彩な「花」で彩られました。



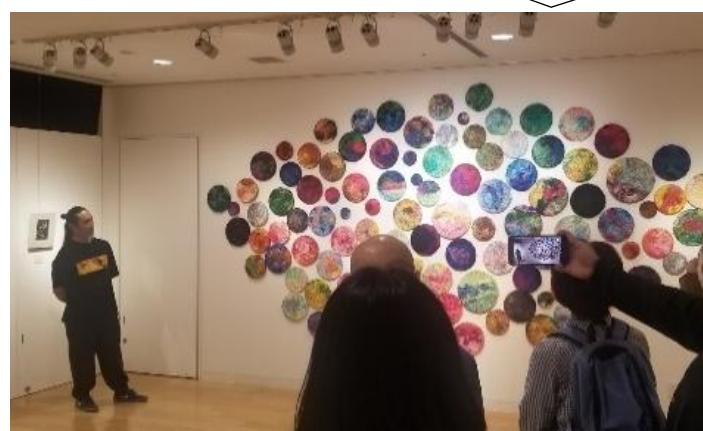
柏モディ前広場は・・・
Blooming ~毎日のように新しい花が咲く~
川上和歌子展が開催され、黄色いタンポポの花で彩されました



ライブペイント 30vs30 /
vsU30s
柏駅東口駅前通りハウディモールは青空キャンバス・・・

柏ゆかりのアーティストの作品を展示した、今年で14回目の共晶点

他団体による連携事業
「街なかアート巡りツアーア」



ここから始める市民活動団体の生成AI活用術

今年のICT講座のテーマは話題の生成AIとしました。そもそも生成AIとは何か。どう活用すれば良いのか。仕事がAIに奪われる、5年後にはシンギュラリティーとやらがやって来て、AIが人間の知能を上回る…。AIについては色々な話が飛び交っていますが、いたずらに不安を抱いたり、恐れたりするのではなく、しっかり理解して賢く使いこなせば、団体運営も格段にレベルアップするのではないかでしょうか。今回はその入門篇の位置づけでした。

■日時：2025年9月24日（水） 18時30分～20時30分

■場所：パレット柏 ミーティングルームFG

■出席者

【講師】青山司氏（ICT能力開発協会理事・名誉講師）

【公募市民】11人、【市民活動サポートコーナー】2人、

【合計】13人

■講座概要

講師は例年ICT関連の講座で講師をお願いしている青山司氏。最初に、Googleレンズと同フォームを組み合わせて参加者から簡単なアンケートを取る方法を紹介。実際にアンケートを取って見せながら、その連携の背後にいるクラウドの重要性やデバイスフリーの考え方、更にアカウント一つでアプリ間をシームレスに横断することのメリットなどの説明がありました。

後半、時間が足りなくなりGeminiなどの生成AIの活用まで十分に話が及ばずに終わったくらいがあったことは残念でしたが、AI時代を迎えるに当たっての基礎知識を得る時間になったのではないでしょうか。

■参加者アンケートから

・アンケートの作成方法がよくわかった。ICTの知識レベルが少し上がった。

・とってもわかりやすかった。もっと知りたいことがあるのですがどう勉強したらよいですか。

・未消化の点もあるが、可能性についてよくわかった。

・演習をもっとじっくりやりたかったです！

・Geminiのアプリの説明に時間をかけてほしかったです。

・クラウドの時代になったのだと実感した。

主催：市民活動サポートコーナー

柏市民活動講座 2025
みんなで便利なICTを覚えよう！使ってみよう！

**ここから始める
市民活動団体の
生成AI活用術**

団体運営をICTでレベルアップ！

◎ICTとは：通信技術を活用したコミュニケーションのこと。ICTの活用で活動のさまざまな悩みも解決できます。

◎当日の演習：生成AI活用術として入門的な、音声入力、文章校正、案内状作成等の実技を習得。

■講師：青山司氏 ICT能力開発協会理事・名誉講師

当日の持ち物など

参加者は、Gmail アカウントを取得済み、且つ、ブラウザはクローム、Google の生成 AI アプリの Gemini をインストール済み、を前提としたスマートフォン、パソコン、タブレット等から2点を持参して下さい。※スマホやパソコンの基本操作可能を前提としてお申込み下さい。

【日時】令和7年9月24日（水）午後6時30分～8時30分

【場所】パレット柏 ミーティングルームFG

【対象】市内在住・在勤・在学のかた、15人

【申込方法】9月1日（月）午前10時から、氏名（ふりがな）、電話番号・メールアドレス・所属団体（市民活動団体に所属しているれば）を書いてメールか、電話、直接窓口でお申し込みください。※申し込み先着順 or 応募者多数の場合は抽選

問・申込 市民活動サポートコーナー（9:30-17:45 月曜休）
TEL 04-7163-1143
✉ sksc@city.kashiwa.chiba.jp
〒277-0005 柏市柏1-7-1 DayOneタワー3F パレット柏内
柏市民公益活動情報サイト かしわんぽ、ぼっ？ <https://kashiwanpo.genki365.net/>

QRコード



第4回協働まちづくりサロン（10/31） 柏における生涯学習と市民活動を考える

柏市における「生涯学習」と「市民活動」の関係性を再定義し、学びをどのように地域課題の解決や実践活動へつなげていくかをテーマに、行政（市民活動サポートコーナー・中央公民館）からの話題提供と、参加者（市民団体・個人）による意見交換が行われました。

■日時：2025年10月31日（金） 18時30分～20時30分

■場所：パレット柏 ミーティングルームG

■出席者

【話題提供】柏市中央公民館・上杉友宏、柏市市民活動支援課協働支援員・松清智洋

【公募市民】7人、【市民活動支援課】1人、【市民活動サポートコーナー】2人、【合計】12人

■概要

最初に、市民活動サポートコーナーの松清市民協働支援員から柏市の政策的背景には第6次総合計画があり、重点テーマとして「全世代に向けた学び・健康・社会参加」が掲げられ、単なる学習にとどまらず自律的な学びが「地域の課題解決」や「人材育成」につながるサイクルを目指す、とされているとの説明がありました。

また、市民意識調査では、柏市民の市への愛着度は高い（特に若年層）ものの、実際に「まちを良くする活動」に参加・行動したいという意欲は低い（10段階評価で0～5が大半）ほか、登録団体の多くは「保健・医療・福祉」や「文化・芸術・スポーツ」等が占めているものの、公益的な活動への広がりには課題があるとの指摘がありました。

更に、生涯学習と市民活動の関係については、地域課題を知り、解決手段を学ぶ場が公民館等であるのに対して、市民活動においては活動を通じて得られる学びを活かし、主体的に課題解決のための活動を行う。この学びと活動の両者をどう循環させるかが重要だと論じました。

次に、中央公民館の上杉統括リーダーから、公民館の現在について、従来の「部屋貸し・講座開催」から「地域づくり支援・コミュニティ育成」への転換が求められている現況が語されました。

柏市は社会教育施設としての「公民館」は中央公民館の1館のみ（他はコミュニティセンター等の近隣センター扱い）ですが、職員のリソース不足、行政の縦割りによる連携の難しさなどが課題になっているとのことです。

また、地域課題解決講座の実践事例として、西原地域では高齢化社会を学ぶ座学と、カードゲームを用いた将来シミュレーションを実施したり、酒井根地域ではデジタルデバイド解消のため、中学生を講師に迎えたスマホ相談会を開催（多世代交流へ発展）、手賀南部では地域歴史カルタの作成を通じた地域学習などが紹介されました。講座を一過性のイベントで終わらせず、参加者がその後も自主的に活動を継続できる仕組みを作ることが目標ということでした。

その後、参加者を交えた意見交換・質疑応答の時間をとりました。

参加者より、「公民館と近隣センターの違いが分かりにくい」との指摘があり、公民館は「社会教育施設（学びが主眼）」、近隣センターは「コミュニティセンター（集まりや行政サービスが主眼）」という役割の違いがあるが、利用者視点では区別がつきにくい等の意見交換がありました。

更に高齢化と後継者不足について、30年前は300人規模で活発だった団体も、現在はメンバーの高齢化（平均80代）が進み、会員減少や役員のなり手不足に直面している、との切実な報告や、公民館を利用する団体の中には、新規メンバーを募集せず、既存の仲間内だけで完結する傾向が増えており、活動の広がり失われているのではないか、などの指摘もありました。

「課題を知る」ための講座を開いても、そこから実際の「市民活動」へと行動変容を起こすハードルが高く、行政が用意した講座に参加者が「受動的」に参加するだけでは主体性は生まれにくい。「楽しさ」や「多世代交流」など、参加したくなる動機づけの工夫が必要と感じました。



柏市民公益活動育成補助金（たまご補助金）団体の活動紹介（NPO 法人ジセダイ歴史文化継承研究所、A&L 俱楽部）

柏市民公益活動育成補助金（たまご補助金）を活用して、令和 7 年度は、設立間もない 6 つの市民公益活動団体が活動をします。ニュースレターでは、順次、たまご補助金団体の活動状況をお伝えしますので、新しい仲間たちの活動に注目してください。

■団体名

NPO 法人ジセダイ歴史文化継承研究所



■団体紹介

地域の歴史文化を次世代へ継承することを目的に、観光ガイド養成、学校での地域教育、関連団体のサポート等、中間支援団体として、多様な事業を展開しています。

今回のたまご補助金事業では、多くの史跡や里山風景が残されている鷺野谷地域において、その保全を図る「地域の担い手」の育成を目的に、活動拠点となる染谷家住宅において「かまど」を活用した講座やイベントを開催しました。

■活動紹介（サボートコーナー 及川）

9月27日（土）に、姉妹団体 柏観光プロダクションと当団体の共催で「染谷家住宅でかまどご飯～岩井・鷺野谷エリアを巡るフットパスツア～」を実施しました。

本ツアーには公募市民 19 人が参加し、我孫子駅（バス）～スポーツ広場前～将門神社～星神社～医王寺～染谷家住宅～香取神社～わしのや農業交流拠点～スポーツ広場前を巡り、染谷家住宅において、地域の皆さんに「かまどご飯」炊いて頂き、参加者がおにぎりを握って、みんなで美味しく頂きました。

今後染谷家住宅を拠点として「地域の担い手」が育成され、「かまどご飯」が貴重な地域の「文化」として未永く保全されることを期待します。



■団体名

A&L 俱楽部

団体 Instagram



■団体紹介

ハワイアンの要素を取り入れた、老若男女が集まるイベントを柏市内の各地で開催しています。アロハスピリットと地元愛の融合によって音楽や踊り、伝統文化を身近に感じて柏市を盛り上げていくことを目指しています。

■活動紹介（サボートコーナー 大石）

9月27日にアミュゼ柏で開催された Hula Luana 2025 にお伺いしました。

このイベントは、柏や東葛地域でフラダンスに取り組む 12 団体が出演し、子どもからシニアまで、日頃の練習の成果をのびのびと披露していました。同じ曲でも踊り手によって表現のちがいがあり、それぞれの個性が心地よい調和を生んでいました。



イベント名の「Luana」はハワイ語で「みんなと一緒に楽しむ」「くつろぐ」という意味があり、団体がイベントに込めた思いが会場のあたたかな雰囲気からも伝わってきました。



ハワイアンのゆったりとした心地よい空気に触れることで、訪れた人の心をやわらかくほぐしながら楽しめる、地域イベントの新しい形を感じました。これからも、ハワイアンの持つ明るく前向きで柔らかなエネルギーが柏のまちへ広がり、多くの人が集い、繋がっていく場として育っていくことを期待しています。

同団体は5月31日～6月1日に「ALOHA LOCO フェスタ」も開催しました。今後のイベントを含む活動の詳細については団体の Instagram もぜひご覧ください。

柏・愛らぶ基金団体の活動紹介

柏市民公益活動促進基金（柏・愛らぶ基金）は、市民の皆様からの寄附金を活用して市民公益活動を支援する制度であり、現在、保健福祉や環境など様々な分野で活動している25団体が基金団体として登録しています。ニュースレターでは、順次 基金団体を紹介しますので、皆様のご支援をよろしくお願ひいたします。



(基金の詳細)

特定非営利活動法人 te-tte Tonerico

「すべての人を笑顔で元気に！」を目標に、障がい児・者やそのご家族のための交流会や勉強会など様々なイベントを行い、疑問や不安に寄り添いながら、本人もご家族も輝ける居場所づくりを目指して活動をしています。また近年は協働の視点から他団体の主催イベントにも積極的に参画したり、障がい理解・多様性をみんなで考えながら柏市の個人や団体を問わず活動の問題点や様々な取り組みを話せる場『柏市民活動交流会りんりん』を企画・実施しています。



(団体の詳細)

Chloris Music(クロリスマジック)

多くの子ども達にクラシック音楽で「心おどる体験」を届ける団体です。メンバーはプロの演奏家で、主に0歳から6歳の人格が作られる大切な時期の子ども達を対象に“目・耳・心・肌で感じる生演奏”“感受性を豊かにするリアルでアナログな体験”“子どもたちの自由な表現も音楽の一部”にこだわった、クラシックコンサート・リトミックや絵本と一緒に物語と音楽を楽しめるコンサートなど、様々な工夫を凝らした音楽体験を提供しています。



(団体の詳細)

2025年度 市民公益活動団体 活動紹介ポスター展

10月1日～16日の期間中、パレット柏内のまちづくりステーションとオープンスペースにて、令和7年度たまご補助金交付団体と柏・愛らぶ基金団体による「市民公益活動団体 活動紹介ポスター展」を開催しました。このポスター展は、パレット柏に訪れる多くの方に、柏市で活躍する市民公益活動団体とその様々な活動を知ってもらう事を目的に毎年開催しているものです。今年度は総勢14団体の展示となりました。この機会が市民と団体にwin-winの関係をもたらし、柏市全体としてNPO活動の裾野が広がることを期待しています。



参加14団体（たまご6団体、基金8団体）の展示の様子は、柏市HPにてご覧いただけます！

(柏市HP)

お知らせ

サポートコーナーからのお知らせ

柏市民活動フェスタ 2026（5/17）参加団体募集中！

来年度の柏市民活動フェスタ 2026 は 5 月 17 日（日）の開催を予定しており、現在参加団体を募集しています。参加申込みの締切は 1 月 31 日（土）です。

日時 2026 年 5 月 17 日（日）屋外：10 時～16 時、屋内：9 時 30 分～17 時 30 分

会場 柏駅東口ダブルデッキ、ファミリーカシワ前広場

柏駅前通り商店街ハウディモール、パレット柏

対象 市民公益活動団体

※ 詳細は、募集要項をご覧ください。（ニュースレター第 39 号に同封）

市民活動講座・協働まちづくりサロンのご案内（1 月～3 月）

«市民活動講座»

第 3 回 3 月 14 日（土） 市民活動のためのチラシ作り・Canva 応用講座

«協働まちづくりサロン»

※1 月～3 月は開催予定なし

«市民活動コーディネーター講座»※新たな受講生の募集なし

第 3 回 1 月 24 日（土）、第 4 回 2 月 21 日（土）

まち *match* づくりステーションのご案内（1 月～3 月）

12 月 9 日（火）～1 月 15 日（木） プレイパーク写真展

2 月 1 日（日）～2 月 14 日（土） はぐはぐフォーラム

※上記以外は、まだ利用予定が決まっていません。柏市内で活動する市民活動団体の活動紹介や団体同士の交流・連携などに積極的にご利用ください。

申込は、パレット柏 総合受付まで ☎04-7157-0280

～編集後記～

優勝争いを繰り広げる柏レイソルの勝敗に一喜一憂しているうちに、気が付けば、令和になって 7 度目の“年の瀬”を迎えていました。

市民活動団体の皆さんには、駿馬の如く、心新たに来たる年の活動に想いを馳せているのではないでしょうか？

市民活動サポートコーナーも、柏レイソルの応援をしつつ、市民活動団体の皆さんの「学び」や「交流」をサポートする様々な活動を行って参りますので、よろしくお願ひ致します。



（編集：及川愛二）

柏市民活動ニュースレター 第39号 2025年12月発行

発行者 柏市市民活動支援課 市民活動サポートコーナー

電話 04-7163-1143 FAX 04-7163-1147

メール shiminkatsudo-c@city.kashiwa.chiba.jp

